

ピースボートの地球一周の船旅 「顔の見える国際交流」





人々からみた戦争の実態と平和への実践 「人間の尊厳」「市民の力」





多様な文化の相互理解 東アジア共同体としての船内空間





次世代への継承 ネットワーク構築



『軍縮教育 ピースボートの方法論』 3つの柱

1

EMPATHY

武器・兵器がもたらす被害を“**感じる**”。痛みを想像し、共感する力を育む。

2

KNOWLEDGE

戦争や兵器の歴史、国際政治のしくみや国際情勢について“**学ぶ**”。

3

ACTION

軍縮を進めていくために必要な“**アクション**”を知り、自らやってみる。